



個別検査

乳がん検診

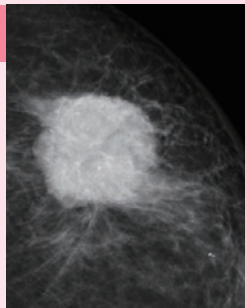
40歳以上の方は定期的に、 乳がん検診を

乳がんは、無症状のうちに検査で発見できた場合、早期治療につながり、治癒の確率も高くなります。しかしながら、我が国では乳がん検診の受診率が低く、乳がんの死亡率は増加し続けています。国の指針では40歳以上の方には2年に1度のマンモグラフィ検診が基本となっています。その他に超音波の単独検査やそれらを組み合わせた方法で乳がん検診を行っています。



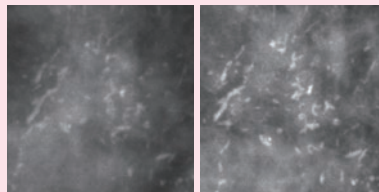
マンモグラフィ

当センターのX線検出器は鮮鋭度の良い直接変換方式を用いており、画素サイズは世界最小クラスの50 μ m。高精細な画像が実現可能です。



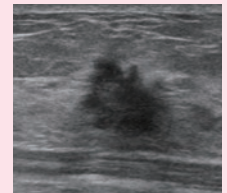
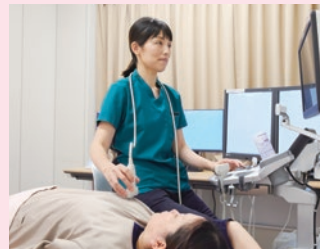
画質による石灰化の 見え方の違い

早期のがんを見つけるには鮮鋭度とコントラストが高く、ノイズの少ない画質が必須です。



乳腺超音波検査

日本人に多いとされるデンスブレスト(乳腺密度の高い乳房)の方は、マンモグラフィでは乳がんが見つかりにくい場合もあるので、超音波との併用をお勧めします。



こんな方にお勧めします

- 40歳以上の方
- 初潮が早く(11歳以下)、閉経が遅い(55歳以上)方
- 出産経験がない方
- 初産が30歳以上だった方
- 閉経後の肥満がある
- 乳腺症などの乳腺疾患にかかったことがある方
- ご家族に乳がんや卵巣がんの既往がある方
- 乳がんになったことがある方



NPO法人 日本乳がん検診 精度管理中央機構 認定施設

当センターは【読影医師】【マンモグラフィ撮影技師】【超音波検査技師】【マンモグラフィ施設画像評価】の全てにおいて上記機構の最高レベルであるA評価認定を受け、質の高い検査を提供しています。